

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の整備について

1. 入札不調の経緯について

- (1) 令和7年2月19日 1回目の入札不調（参加申請なし）
(2) 5月29日 2回目の入札不調（参加申請はあったものの二者とも辞退）
(3) 令和8年4月15日 3回目の入札公告開始
(4) 5月26日 3回目の入札不調（申請期間内に参加申請がなかったため）

2. 3回目の入札について

建築工事について、以下の条件で公告した。

- ア. 公告期間の見直し イ. 入札参加条件の見直し ウ. 発注方式の見直し
エ. 適正な予定価格の設定 オ. 工期設定の見直し

	1回目	2回目	3回目
入札公告	R7. 1. 31	R7. 4. 15	R8. 4. 15
公告期間	41 日間	44 日間	142 日間
整備費	約 220 億円	約 220 億円	約 271 億円
設計金額（建築工事）	約 149 億円	約 163 億円	—
履行期間	31 か月	31.5 か月	38.3 か月
施工実績	17,000 ㎡以上	12,000 ㎡以上	12,000 ㎡以上
総合評定値	1,250 点以上	1,200 点以上	1,200 点以上
J V 構成要件	3 社	3 社	2 社または 3 社
発注方式			・ 見積活用方式 ・ 入札時 V E 方式 ・ 入札時積算数量書活用方式

3. 今後の対応等について

(1) 関係6校の教育環境の整備

- 内 谷 中 学 校：トイレ洋式化を本年度実施する。
沼 影 小 学 校：トイレ洋式化を本年度と来年度で実施する。
浦和大里小学校：体育館の空調設備工事を今月中に着工する。
浦和別所小学校：トイレ洋式化と体育館の空調設備工事を来年度実施する。
西 浦 和 小 学 校：トイレ洋式化を本年度実施する。
辻 小 学 校：校舎屋上防水・外壁改修・給水設備工事の実施設計を行う。

(2) 建設予定地の暫定活用

整備工事が始まるまでの間、建設予定地の暫定活用を検討し、地域の方々や関係部局と連携しながら、新しい学校を心待ちにしている子どもたちの思いをつないでいく取組を実施する。

(3) 児童生徒数推計と教室数

令和7年度の児童生徒数推計によれば、直ちに新たな仮設校舎の整備が必要となるほどの影響は生じないが、教室に転用できる諸室に余裕はない状況である。将来的に教室不足が見込まれる場合は、学校と協議の上、稼働率の低い特別教室を転用するなど一時的な教室不足に対応していく。

4. 開校準備委員会の活動状況について

「地域とともにある学校づくり」を進めることを目的として設置した第一期開校準備委員会では、4,151 件のアンケートを基に練り上げた「未来の姿」を策定し、各WGにおいて意見交換の拠り所としてきた。今後、第二期開校準備委員会では、これまでの成果を継承し、以下のような開校準備を進めていく。

○本都会

校名について、児童生徒や地域の方々から募集した 1,353 件の校名アイデア、及び校名・移行イベントWGにおいて意見交換を重ねた結果を基に5案に絞り込んだ。

○通学区域WG

事務局当初案を基に意見交換を重ね、ワーキンググループの最終案として整理した。今後はフィールドワークを通して危険箇所を把握し、通学路を検討する。

○カリキュラムWG

制服の有無や日課表等について意見交換を重ねるとともに、先行自治体の事例も踏まえ、工夫点や導入のメリット等について整理しながら進めている。

○学校生活WG

学校生活のきまりや、さわやか相談室・S o l a る一むについて、既存校や他自治体の先行事例を共有しながら意見交換を行っている。

○学校地域協働WG

三つの学校が一つに統合して開校するうえで、各関係団体が現在の活動を円滑に継続できるようにするための懸念事項等を洗い出しながら意見交換を行っている。

○保健室運営WG

危機管理対応マニュアルや校舎ごとの A E D の配置等、学校安全に係る内容について、関係校養護教諭が加わり意見交換を進めている。

○給食室運営WG

給食提供時間・回数の調整の必要性、3校舎で統一献立としていく方針やそれに伴う機器の改修や増設の必要性等について、関係校栄養教諭が加わり意見交換を進めている。

○学校事務運営WG

義務1～4年生が教育活動を行う内谷中学校の校舎改修に関して、児童の意見を改修内容に反映させるための見学会について計画している。

○校名・移行イベントWG

校章・校歌の決定の流れや、開校式の実施形態、レガシースペースに置く物品の選定方法について意見交換を行い、方向性を整理した。